

令和6年度暫定評価結果の反映状況

評価結果	業務運営の改善への反映状況	備 考 業務実績報告書 項目別実績番号
<p>1. 中期目標で示した、各病院における病床稼働率の目標値を達成するため、病床の適正管理に努められたい。</p>	<p>令和6年度は、各病院ともに依然 SARS-CoV-2（以下「新型コロナウイルス」という。）感染症の影響を受けつつも、徐々に回復してきている。</p> <p>総合病院の令和6年度の一般病床稼働率は88.2%となり、目標値（90%以上）を下回っているが、新規入院患者数は令和5年度の16,667人から令和6年度は17,491人と大幅に増加しており、地域医療に大きく貢献している。</p>	<p>40 総合</p>
<p>2. こころの医療センターにおいては、時間外における救急診療件数及び修正型電気けいれん療法の実施件数について、件数減の要因を分析するとともに、状況に合わせた目標値の見直し等に取り組まれない。</p>	<p>救急診療については、最後の砦として断らない救急を実践し全ての要請に対し受入を行っている。時間外における救急診療件数が減少しているものの、全時間帯での受入件数は増加している。</p> <p>今後は、目標値を時間内、時間外問わず全救急診療件数に見直すこととしている。</p> <p>修正型電気けいれん療法（m-ECT）の実施件数の減少については、侵襲的治療であるため、患者の症状、様態に合わせクロザピンをはじめとした薬物療法が可能な患者には薬物療法を実施している。結果として、令和6年度はm-ECTの実施人数が令和5年度から20人減少したが、クロザピンの新規導入患者数は20人増加した。今後、実態に合わせた目標値へ見直すこととしている。</p>	<p>42、44 こころ</p>

<p>3. 看護師数（正規職員数）については、働き方改革等の影響を注視しつつ、機構内での配置見直しを含め、安全で質の高い医療提供の根幹である医療従事者の適性数確保に向けて、引き続き対応されたい。</p>	<p>各病院の看護師数は、病院からの要求を踏まえた上で決定しており、退職者数や育児休業等取得者数を考慮して適切な医療提供体制が確保できる人数の採用を行っている。</p> <p>令和7年度については、採用予定人数120人に対して、一旦は採用予定人数を確保できたものの、内定辞退や国家試験不合格などにより最終的に115人の採用となった。</p> <p>不足の5人については、令和7年度に実施する月次採用試験や定時の採用試験での確保に向け取り組んでいく。引き続き、養成校訪問や就職説明会への参加のほか、看護学生に機構の病院を見学してもらう「3病院見学ツアー」の実施などにより、看護師の確保に努めていく。</p>	<p>61 本部</p>
<p>4. 公開講座については、開催方法を工夫するなど積極的な情報発信を実施されたい。</p>	<p>（総合）</p> <p>外部向け講座として、がん医療公開講座や、難聴児の早期発見、早期介入を目的に、地域の医療従事者や行政担当者による研修会等を実施している。令和6年度は48件と、目標の35件を上回った。開催にあたっては、病院ホームページや県民だよりへの掲載や、地域医療機関や生涯学習センター、図書館等へチラシを配布し、県民への周知を図っている。</p> <p>（こころ）</p> <p>積極的に情報発信を行い、今年度開催したオープンホスピタルや一般市民を対象とした公開講座を実施していく。</p> <p>（こども）</p> <p>開催方法については、オンラインと会場のハイブリットで開催している講座もある。ホームページに開催案内の掲示や、医師会等へのチラシ配布により、情報発信や開催の周知をしていく。</p>	<p>95 各病院</p>

<p>5. 経常収支については、県立病院として持続可能な運営を行っていくためにも、高度・専門医療の提供と財政の健全化の両立に向けて、これまでの取組の強度を上げるとともに、昨今の物価高騰等による影響についての分析等を行い、必要な対策を示されたい。</p>	<p>機構本部では、3病院の月次決算資料を作成し、前年及び令和元年度同月実績値との比較による経費の増減分析等を行い、理事会等で報告している。</p> <p>また、令和5年度末から実施している経営戦略会議には、3病院及び本部の幹部職員が参加し、機構内における様々な課題への対応や経営改善に向けた取組等について議論するなどして、具体的な改善成果を上げている。</p> <p>なお、令和7年度は、各病院に「収入増」「費用減」「基盤整備」に関するワーキング・グループを設置し、3病院と本部との連携を図りながら、経営改善を強力に推進することとしている。</p> <p>引き続き、同会議を中心に、各病院における経営改善に関する取組の情報共有と進捗管理を行いながら、高度・専門医療の提供と財政の健全化の両立を推進する。</p>	<p>118 本部</p>
--	--	-------------------